

OUJ神奈川学習センター あきだより

通巻第64号

2015年12月11日発行

発行: 放送大学神奈川学習センター

〒232-0061 横浜市南区大岡2-31-1

url: <http://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/>

tel:045-710-1910 fax:045-710-1914



大観覧車とシーカヤック(次号に関連記事掲載予定)

目次

平成27年度1学期卒業証書・学位記授与式	2～ 3
学生研修旅行「宇宙とイスラーム」	4～ 5
学習センターニュース (学習センター祭「フェスタ・ヨコハマ」／入学者の集い／船上国際交流2015) 学習センターにおける若手学生の就学支援について 池田龍彦所長	6～ 7
ゼミ・研究会のご案内	8
研修旅行学習ノートから「STEEL HISTORY」(下)	9
Kーサポートからのお知らせ	9
学生サークルからのお知らせ／同窓会だより	10～11
学習センターからのお知らせ	12

神奈川「みなとあらい」



卒業生代表挨拶

卒業生代表 古本 教子

9月27日、神奈川学習センターの平成27年度第1学期、卒業証書・学位記授与式が開催されました。

神奈川学習センターで、卒業し学位記を手にした方は、117名。授与式へは、63名の方の出席がありました。

卒業生の中から、卒業生代表としてスピーチされた古本教子さんと、所長表彰された成績優秀者の志田健さんから、寄稿頂きましたので、掲載いたします。 【編集部】

本日は私達卒業生のために、卒業証書学位記授与式を挙げて下さりまして卒業生を代表して関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、環境美化に貢献したということで、表彰を受けましたこと、感謝申し上げます。2001年4月入学ですが、当時センターの花壇はとても荒れていました。花壇の殆どはどくだみが繁茂して、サツキやツツジが枯れそうな状態でした。

私は植物の手入れが好きで、家がセンターに近いということで、時々センターに来て、雑草を抜いたり、枝を切ったりしていました。春には手ごろな草花の苗を自宅から持ってきて植え、肥料をやったり、虫を取ったり剪定をしました。数年前に「オキナワズズメウリ」というつる性の植物を植えました。2, 3メートルに伸び、2cmくらいの赤いビー玉のような実がたくさんなり、皆さん手に取って、楽しんでくれました。また時々「何という花ですか？」と質問されたり、花壇を背景に記念写真を写す方もいらっしやいまして、とてもうれしく思いました。何となく今日まで手入れを楽しんでいたというのが正直な気持ちです。今回このような表彰を受けることは、全く想像外で感激です。

私の入学動機は30年間学習塾を運営してきましたので子供さんや親御さんと面談をする機会が数多くありました。指導の場面や面談がうまく出来るようになりたい、気持ちを分かってあげたいなどと感じていました。そこで教育心理や児童心理などを系統的に深く学びたいと思うようになりました。またセンターと住まいが大変近いということも学習意欲を後押ししてくれました。2001年4月、入学式に参列し、必ず卒業するという目標をたてました。その日にサークルの勧誘を受け、その場で入会し現在に至っています。仕事をしながらの勉強は時間に追われ、いつも余裕のない生活でした。毎朝3時に起きて6時までが学習時間で外出時は必ず印刷教材を持参し少しの時間も惜しんで教材を読みました。

はじめての卒業式では試験勉強に追われたことなどが思い出され、おもわず感動で涙があふれました。

その時80歳代の女性が全コースを卒業し表彰されました。放送大学には素晴らしい方が学んでいることに驚きました。そしてその時、私は次のコースへの再入学をはっきり決意しました。

障害児福祉関連の面接授業のとき内容に深く感動し、二日目の最後のコマが終わってから、とっさに教授の元へ近より自分の想いを話したことを思い出します。また昨年は千葉の面接授業で仁科エミ教授の「音と音楽への情報学的アプローチ」を受講しました。授業の中で2日間にわたってインドネシアの民族楽器「ガムラン」10台を皆さんと合奏したことはとても楽しく素晴らしい授業でした。ガムランは脳を癒す超高周波を出すそうで体にとっても良いということです。

さて私が今まで学習を続けることが出来たのは、サークルに入っているいろいろな方と友達になり、楽しい行事などを通して互いに励ましあって良い関係を築けたからと思っています。孤独な学習も「みなさんが、頑張っている」と思えば、楽しく感じられました。サークルの元会長さんは全コース卒業された大先輩ですので、良きモデルでした。その方は、「苦手な科目でも10回読めば何とか出来る」とおっしゃいました。そのことを励みに学習を続け、この度、何とか5コース目を卒業することが出来ました。

本日を契機にこれからは、ゆっくり、じっくり楽しみながら、こつこつとマイペースで学習を続けたいと思います。最後になりましたが今までお世話になりましたすべての方々に感謝を申し上げます。放送大学の益々の発展と皆様のご多幸を祈念して挨拶と致します。



二年間の学びを振り返って

所長表彰 受彰者 志田 健

以前から、もう一度大学で勉強し直したいと考えておりましたが、家庭と仕事を持つ身としては現実的ではありませんでした。放送大学のことは知っておりましたが、改めてホームページを見たときに編入制度が目にとまりました。3年次編入なら家庭・仕事と学業との両立が出来るかと思い、妻に相談したところ快く入学に賛成してくれました。そして約20年ぶりに大学で学ぶことになりました。

数学を学び直したいと考えておりましたので、自然と環境コースを専攻しました。ところが自然と環境コースの専門科目には物理学、生物学、天文学などもあり、これらの科目の学習にはかなり不安がありました。また、2年間での卒業を予定しておりましたので、1学期で8科目ずつ履修する計画でスタートしました。10月開講でしたが、学習時間が平日の通勤時間と帰宅後の1時間半程度でしたので、10月～1月の4ヶ月で8科目を学習するのは厳しいと思い、インターネットを利用して、入学前はオープンコースウェアで、入学手続き後の7月からはキャンパスネットワークホームページで放送授業を視聴しました。最初の単位認定試験までに半年以上かけて学習したことになります。その後も、単位認定試験が終了次第、次の学期の履修予定の放送授業の視聴を開始し、各学期6ヶ月の学習期間を確保しました。印刷教材が手元に届くまでは、放送授業の視聴のみです。印刷教材到着後は、通勤時間に印刷教材で学習し、帰宅後に自宅のPCで放送授業の視聴、といった具合です。平日は23時過ぎに帰宅し、食事をしながら放送授業を視聴するのですが、大抵は途中で居眠りをしていました。その分、インターネット授業のメリットのひとつである再現性を活かして、繰り返し視聴しました。

先に述べた通り、物理学、生物学、天文学の学習には不安がありましたが、基礎科目・共通科目・専門科目と段階を踏んで学習することにより、なんとか履修することができました。特に、宇宙を読み解く・太陽系の科学・宇宙とその進化の放送授業は楽しく視聴することができました。海部宣男先生・吉岡一男先生にご紹介いただいた「往古来今これを宙といい、四方上下これを宇という」のフレーズが気に入っております。量子の世界から宇宙の果てまで、宇宙の初期から現在までの進化を学ぶことで、文字通り世界が広がった気がします。

現在、放送大学に在籍されている方は、様々な年代、職業の方がいると思います。通学制の大学における授業では、時間と場所の共有・対面性という制約がありますが、放送大学では、そうした空間・時間上の制約に縛られないというメリットがあります。ご自身の生活リズムに合った学習法を確立し、幅広い教養を身に付けることで、それぞれの世界観を広げていただけたらと思います。

最後に、授業をご担当された先生方、単位認定試験などでお世話になりました神奈川学習センターの皆様にお礼を申し上げます。



2015年、学生研修旅行・研修テーマ「宇宙とイスラーム」

Kーサポートバス研修チーム 田丸 重男

神奈川学習センター主催のバスによる学生研修旅行のサポートチーム(以降バス研チーム)と略称、今年は図らずもバス研チームのリーダーに推挙され固辞するもメンバーの熱意に絆されてお引き受けした。2年間チームの一員としてサポート内容・運営など把握してきた積りであるが、年間を通してのすべき事など遂行にあたり大学職員・チームスタッフの適切な支援によって無事に実施出来た事に感謝している。

新年度の四月から大学側職員を交えてバス研チーム月例会議を通して、バス研旅行の選定にあたり、前年参加者のアンケートや以前下見を実施した候補地、時節に適応した新たな候補地などを全員で協議し、最終的に三鷹方面に候補地を絞り込み下見を実施した。今回から大学側の通達で以前まで行っていたマイクロバス仕立ての下見は中止され、公共交通機関を利用して行った。下見は大学側職員1名とバス研チーム5名で5月に実施、候補地3ヶ所を見て回り、大型バスの駐車場、施設の環境、利便性などを詳細に検討し、「中近東文化センター」並びに「国立天文台・三鷹」に決定した。下見の意味は、候補地の選定のみならず当日のバス運行に対しての時間配分を実際のルートを走り行動予定の精度を高める狙いもあったのだが今回は机上プランでの時間配分につき一抹の不安を感じていたが予定通りの実施出来たので安堵した。

最初に訪れた「国立天文台」では太陽ウォーキングを歩き広大な宇宙を感じ取り、更に主要な施設を見学後、国立天文台の教授の講義



は最先端の観測設備や研究施設、今後の観測計画等多くを学んだ。次の「中近東文化センター」では学芸員の冒頭説明が事前情報となり古代オリエント文明に関わる多彩な展示品を皆さん熱心に鑑賞されていた。今回の研修テーマ、「宇宙とイスラーム」は学業に関係する事柄が多くあり参加者の関心も非常に高く、面接授業や放送授業を通じて

得た知識を補完する意味では大変良い機会であったと思う。

帰路の約一時間余り、毎回恒例となっている参加された教授三名による車内講義は、面接授業や放送授業とは別の趣があるとても興味深い内容であった。特に講義前の余興として種田教授の手品、一万円が瞬時に5千円二枚に、それをまた一万円に戻す手品は全員度肝を抜かれた。



最後に、今回参加した学生40名の「バス研修旅行参加報告書」において、40名全員が報告書を提出している点は、今回の研修旅行の関心の高さが伺えた。また参加者の率直な評価は記載なし5名を除き、46%の人がAと評価、51%の人がAと評価、97%の人が高い評価をして頂いた。この様に成功裡に終えた今回のバス研修旅行、携わったチーム全員が遣り甲斐、達成感を得たのではと思っている。今後もこの様な高い評価を得られるバス研の企画運営に携わりたいと思っている。



国立天文台三鷹キャンパスを見学して 編集部

研修旅行当日は晴天に恵まれ、渋滞もなく、10時前に到着した。天文台中央棟前でバスを降り、そのあと、最も古い施設、第一赤道儀室から見学、おもむきを使って、望遠鏡を動かす動力にしていると説明があった。

次に、太陽系ウォーキング、太陽系を140億分の1に縮めた模型が、通路を脇に配置されている。太陽系の大きさ、地球の小ささなど実感しながら先生へたくさんの質問が飛びだしていた。

そして、中心的な展示となる大赤道儀室(天文台歴史館)直径65cmのレンズを持った10mの長さの望遠鏡を見上げ、その大きさに全員で見入った。今まで使われてきた観測装置の展示解説に興味津々だった。

最後に展示室、現在国立天文台が進めているプロジェクトや、最新の天文学の成果などが、展示されていた。熱のこもった解説と、私たちの興味で、時間が足りないほどだった。

見学を終えると、コスモス会館(食堂や売店のある建物)の一室に全員集まって、TMT推進室青木和光准教授のお話を聞く、太陽系外惑星の発見、いろいろな惑星系についての最新の研究のお話し、そして、現在ハワイマウナケア山に建設中のTMT望遠鏡(直径30mの鏡を使った巨大望遠鏡)の話で、締めくくられた。

コスモス会館で、昼食を取ったあとは、自由行動となり、めいめい天文台を散策した。以前使われていた観測機器を展示した部屋では、放送大の学生・先生の思い出話聞かれたり、屋外では、牧場のような広大な原っぱを歩いて、ゆったりとした気持ちになった。



中近東文化センターを見学して 小澤 清子

常設展示室の入口には、紀元前18世紀のバビロニア王ハムラビが發布した、世界で二番目に古い法典の「目には目を、歯には歯を」で有名なハムラビ法典碑が目に見え、びっしりと刻まれており、その繊細さに驚かされる。

何気なく、そばに置かれたプリントを手にとると早速、楔形(くさび)形文字を試してみる。

楔形文字を体験しよう！
自分の名前を楔形文字で書いて見て下さい。この文字は現在のトルコにあったヒッタイト大国で使われたヒッタイト語楔形文字です。難しそうに見えますが、五つの形しかありません。組み合わせを良く見て書いて下さい。



やはり難しく一文字も書けず終いでした。紀元前18世紀に法典を發布し、伝達手段をもつ優れた文明が展開されていたことを知った。中近東ゆかりの収蔵品展示の中より、紀元前20世紀頃の陶器で鮮やかなコバルトブルーに彩色されているカバの像の表情がほのぼのと可愛らしく数千年以上も経過した現代にも共感できるのだろう！博物館のマスコットとして名前を公募し「ルリカ」と命名したとのことなど長い歴史のひとつに想いを馳せることができました。



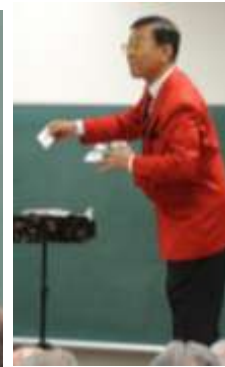
ハムラビ法典碑

第29回放送大学神奈川学習センター祭「フェスタ・ヨコハマ」

9月5日(土)と9月6日(日)神奈川学習センター祭フェスタ・ヨコハマが、開催された。

29回目になる祭典は、放送大学神奈川サークル協議会(神奈川同窓会と公認サークル9団体による協議会)の主催、神奈川学習センターの後援により行われ、「学生受け入れ・授業開始30周年」の記念祭となった。

5日には、女流落語家の柳亭こみちさん、奇術師のダーク広和さんを招いての大岡寄席や、ダンスパーティー。6日には、南次郎氏を講師に「横浜市歌と作曲家南能衛」の講演、交歓親睦パーティーが行われた。



入学者の集い

10月3日(土)神奈川学習センター平成27年度第2学期の入学者の集いが開催されました。

今学期、神奈川学習センターの入学者は、1,049名(学部930名大学院119名)、会場には、156名(学部147名、大学院9名)が集いました。

DVD投影による岡部学長の挨拶のあと、池田所長の式辞、来賓の佐桑同窓会長の祝辞、神奈川学習センター客員教授の先生方の紹介、放送大学神奈川合唱団による学歌斉唱と続きました。

式典のあとは、オリエンテーション、事務の職員から

学習センターの使い方の説明と事務連絡などがあり、そのあと、学生のみなさんを、相互に支援するK-サポート、学生サークルの紹介へ続きました。

サークルの紹介まで含めると約3時間のつどいになりました。

サークル紹介が終わるまで、熱心に聞き入っている方も多く、学びたい気持ちの強さを感じました。



入学者の集い参加者の全員写真

国際交流クルーズ「船上国際交流2015」

9月30日国際交流グループが行う国際交流クルーズ「船上国際交流2015」が、90名あまりの参加者により開催された。今年度も、横浜港振興協会の協力により、港内遊覧船「マリーンシャトル」が利用された。

(編集部)

「船上国際交流にて」 中国語学習会 和田 充弘

「えっ、ウーさんとおっしゃるんですか、どう書きます？ 武術の武ですか」、この50代後半の紳士のあまりの達筆に息をのむ、なんと書道の師範だった。横浜国大で、経営学を専攻の息子さんに会うため、中国、遼寧省瀋陽市から奥さんと来日、翌日から親子3人で京都、奈良をまわるとのこと。



> 「そう言えば、前の中国大使も武さんでしたよ、ご親戚ですか？」。私の語学レベルはなんともひどいものだが、ずうずうしいのか鈍感なのか、年齢、性別にかかわらず、漢字を共用する文化圏の仲間として、中国人とは話題には困らない。アッという間の一時間だった。

国際交流クルージングに参加して

中国語学習会 松野 堯子

この度神奈川学習センター開催の国際交流クルージングに初めて参加しました。山下公園から乗船し

ての湾内クルージングで約一時間でした。参加者は100人あまりだったと思われます。

中国語学習会からの参加者は10名くらいでした。はじめにボランティア代表の挨拶、続いて神奈川学習センター長の挨拶があり、あとは懇談という流れでした。

一般乗船者の中に中国人の父母と息子(26歳)の3人づれと横浜国大の女子留学生がいることが学習会の仲間を通じてわかり、早速父母と息子のところにゆき“ニーハオ”と挨拶し、中国語での話がはづみしました。又室外のデッキにいる女子留学生のところにゆき中国語学習会の仲間と共に話しました。中国人と話す機会のない学習者にとっては楽しい一時でした。



またたく間に1時間が過ぎ帰りに留学生に“いけ花の体験をしに家に遊びに来ませんか？”と言うと彼女は大変喜び自分の携帯の電話番号を書いてくれ別れました。困ったことにその書いてもらった電話番号をどこに置いたか暫くわからず、先日やっと見つかり早速彼女に電話して11月26日に約束しました。彼女との再会を楽しみにしています。



学習センターにおける若手学生への就学支援について 神奈川学習センター所長 池田 龍彦

神奈川学習センター所属学生のうち、10代・20代が約400名、30代が約750名もいます。その割には学習センターで会う機会が少ない気がします。今年度から「若者集まれキャンペーン」を始めました。6月に若手卒業生、8月には宮



放送大で若者支援をしている宮本副学長と本部職員2名を招いた。(8月9日)

本みち子副学長を招いて若手入学生が集まり、そして11月に遊覧船マリーンシャトルで若手横浜港クルーズです。いずれも楽しいイベントでした。これからは、毎月第3土曜日の午後に学習センターに集まりましょう。



後部デッキで横浜港の案内をする池田所長と参加者(11月4日)

ゼミ・研究会のご案内

○平成27年度神奈川学習センター開講ゼミ・研究会一覧

平成27年12月5日現在

①客員教授開講ゼミ					
教員	ゼミ名	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先	備考
浅野幸弘	浅野ゼミ	原則第2木曜日	4/9、5/14、6/11、7/9 8/20、9/10、10/15、11/12 12/10、1/14、2/18、3/11	yasano37@ynu.ac.jp	
有馬 眞	地球科学ゼミ	原則月1回	5/30(所内)、6/16(所外) 9/15(所外)、10/27(所外)	m-arima@ouj.ac.jp	
杉田正樹	哲学カフェ	原則第4土曜日	5/23、6/20、9/26 10/24、11/28	msugita@kanto-gakuin.ac.jp	
中嶋俊夫	第九を楽しむ	原則月2回(土・日)	5/23、5/30、5/31(所外) 6/20、6/27、7/12、7/19 8/22、8/29、9/19、10/11 10/25、11/8(所外)、11/28 12/12、1/9、2/13、2/28 3/12、3/27	http://www.gassyoh.yumesora.net	11/8:大岡地区センター
種田保穂	種田ゼミ		9/15、10/24、11/18 12/17	taneda@ynu.ac.jp	9月15日:開設ゼミ説明会
遠山紘司	遠山ゼミ		9/16、10/29、11/19 12/17	kmymt@olive.ocn.ne.jp	9月16日:開設準備会
②元客員教授開講ゼミ					
教員	ゼミ名	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先	備考
藤原 一繪	植生研究会	原則第2木曜日	4/9(所外)、4/30(所外) 5/14(所外)、6/11(所外) 8/13(所外)、10/8(所外) 11/12(所外)、12/10(所内)	syokusei@yakatsu.org	平成27年3月26日許可 9/10は台風により中止
影井清一郎	科学の散歩道研究会	原則第3土曜日	4/18、5/23、6/20、9/12 10/24、11/14、12/19	kagei@ynu.ac.jp	平成27年3月31日許可
③元放送大学教員開講研究会					
教員(顧問)	研究会名	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先	備考
天川 晃	放送大学ガバナンス研究会	原則第2土曜日	4/12、5/16、6/13、 7/11 9/12、9/13、 9/16、10/4 11/14、 12/13	jkaz5529@gmail.com	
柏倉康夫	三無会	不定期開催	6/6、12/18	miyako.f71417@jcom.zaq.ne.jp	平成27年7月2日許可

ゼミ・研究会の紹介～プロローグ

編集部

前号より、神奈川学習センターで開講されている、客員教授の先生方などが主宰されているゼミの情報を掲載しています。次号から、原則毎号1つのゼミを取り上げて、紹介を行ってゆきたいと思っています。

現在、さまざまな分野で10のゼミ(卒業研究のゼミ等公募されないゼミを除く)があります。

基本的に、神奈川学習センターの客員教授の先生方がゼミを主宰されていますが、歴史的な経緯もあって、神奈川学習センターおよび放送大学で、教授、客員教授を経験されたことのある先生方が主宰されているものがあります。

①の客員教授開講ゼミは、神奈川学習センターで現在客員教授に就任されている先生方のゼミ

(なお、遠山先生は、放送大学客員教授)で、浅野ゼミ以外のゼミは、2015年度に始まった新しいゼミです。

②の元客員教授開講ゼミは、①のゼミとして始まり(藤原ゼミ、影井ゼミとも2010年スタート)しました。先生が客員教授を退かれたあとも、学生の強い要望があり、継続されているゼミです。

③の研究会は、主に、卒業研究(修士論文)を終えた学生の継続的に学びたいという要望を受ける形で、卒業研究のゼミから派生した会です。もともとが卒業研究等のゼミなので、研究会的な色彩がより濃い会が多くなっています。

いずれのゼミも、単位の取得にはなりませんが、貴重な学びの場となっています。

研修旅行学習ノートから「STEEL HISTORY－西山弥太郎の英断－」(下)

平成26年度学生研修旅行の学習ノートから、笹木正明さんによる「STEEL HISTORY－西山弥太郎の英断－」全3回の最終回です。

(4) 世界銀行借款(申請から承認まで)

川鉄は1954年(昭和29)5月、政府(通産省)に対して世銀借款2724万ドル(約98億円)を正式に申請したが、他社の強い働きかけにより、閣議で川鉄の申請額を約1000万ドル削り、1689万2千ドルとした。(設備機器、輸送経費の見直しにより最終的には2000万ドルに変更。)貸し付けはツー・ステップ・ローンと言ひ、世銀が開銀に融資し、さらに川鉄に転貸する。交渉は財務部長岡田貢助が主に担当し、西山が指揮した。10月、世銀調査団は千葉製鉄所を見学した。西山は「千葉工場建設の原則は、単純化、集約化、連続化、一貫化4つであります。設計は、英米独仏など各国の一流メーカーの優れた点を徹底して取り入れ、設計図を60回以上描き直して、これを実現しました。」と説明した。技術面での世銀の評価は高かったが、会社の体力に対して、千葉工場の設備投資が大きすぎる事、またストリップミルで生産される薄板の十分な市場がないとの理由で世銀審査委員会に川鉄の案件を推薦できないとした。また外部の借金の返済も出来ないのに、身内である株主に配当する事を問題視した。但し、世銀は今すぐ申請拒絶ではなく、2年間位で体力を付け出直すれば、改めて検討するとした。川鉄は1954年(昭和29)10月期決算を1.4億円の黒字(税引き前)とし、無配にした。川鉄は面談の翌日から世界銀行に受け入れてもらえるよう、設備投資計画の練り直し作業を開始した。世銀の意見を尊重し、二期工事の規模を縮小し、計画を再提出する事になった。1955年(昭和30)3月初め岡田は世銀担当者に対し「第二期工事は、圧延部門の必要設備に絞り、投資の規模を約4割減らしました。」と述べた。一年前に提出した第二期工事の総額は216億3千万円だったが、それを4割減らし、129億9900万円(3527万ドル)にした。資金調達は、49億6千万円(1378万ドル)が世銀借款、40億円を日本開発銀行の融資、残りを増資、社債、自己資金で賄う計画である。世銀から「会社の財務体質がまだ弱い。増資をして財務基盤を強化すべきである。」と指摘があり、これに対して証券会社と相談し、資本金を40億円から60億円に増やすことが可能であるとの結論になり、川鉄は20億円の増資を決断した。川鉄の昭和30年10月期決算は日本経済と鉄鋼市況の追い風を受けて、税引き前利益6億8千475万円(113.5%増)となったが、世銀から融資を受けるため、配当は見送られ3期連続無配となった。

3年間の活動により審査条件を満たしたので世銀ではローン実務委員会が開かれ、川鉄向け融資を承認し

た。1956年(昭和31)12月14日。川鉄向け2000万ドル融資。内容はホット&ストリップミルを建設するための資金4500万ドルの内、外貨必要分をファイナンスするもの。融資期間15年。千葉製鉄所の建設は急ピッチで進み、経営も健全に成長した。国内の金融業界、日本長期信用銀行、信託銀行、生命保険会社は多額の融資を行った。1958年(昭和33)6月ホット及びコールドストリップミルの完成で千葉製鉄所は銑鋼一貫生産の体制が確立した。景気もこの頃は回復基調で、西山の成功に刺激されて神戸製鋼と住友金属も高炉建設へと動き、八幡、富士、日本鋼管も積極的に最新高炉建設へと企画を進めた。1970年代には日本の粗鋼生産1億トンを達成した。

Kーサポートからのお知らせ

○学習相談チーム

Kーサポートの学習相談、2015年度第2学期は、12月20日までの土曜日と日曜日、午後1時から午後3時50分の間、2階談話室の相談コーナーで行っています。予約は不要です。

放送大学での学習に関して困っている点に限らせていただきますが、まずは気軽に何でも相談にきてください。

○パソコンサポートチーム

・2月20日(土曜) 13:00～16:30

「ホームページの利用－科目登録の提出」
内容:初めてインターネットで科目登録する方向け講義とサポーターの操作支援
※神奈川学習センター事務室へ申込み必要です。

・1月9日(土) ・2月6日(土)

「個別サポート」

今までの復習、その他。(事前申し込み不要、直接会場へお越しください。)

学生サークルからのお知らせ

○うえるかむKanagawa

私達は英語を楽しみながら学んでいるサークルです。

☆例会は毎月第2、第4水曜日(試験月等は変更有り)

＊Benny class (3クラス) 10:15～12:30

＊English songs 13:15～13:30

＊Group study(4グループ) 13:30～15:30

☆その他 うえるかむ名画座、ゲスト講演会等を開催。

問い合わせ 片野眞明 090-4714-8260

○韓国語同好会

★月例会 第2、第4土曜日

①10:00～11:30 初級クラス

②11:30～12:00 ミーティング(全員)

③12:00～13:30 中級クラス

④14:00～15:00 自主学習(「サランバンソンニムとお母さん」読書会)

★講師 横浜国大大学院生 林恵園先生

★問い合わせ 神奈川サークル協議会のホームページからどうぞ。

<http://kcc-ouj.net/dantai/hangugo/>
(代表:斎藤)

○放大かながわレク・サークル

★パソコン部:個人のニーズに応じた学習。

学習日時:第2、第4木曜日 13時30分～15時30分。

場所:神奈川学習センター 実習室:申込制

★ウォーキング部:2ヶ月に1回、「東海道五十三次」実施中。名所旧跡文化 施設等も対象

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

—会員募集中(随時申込・受付)—

問合せ:島田 義治 Tel 090-3907-8384

E-mail simada.yosiharu@coral.plala.or.jp

○神奈川合唱団

楽しく一緒に唱いましょう。

今年度も、3月26日の学位記授与式にNHKホールにて学歌を唱います。発声法に特に力を入れた指導を受けています。「学歌」「夜のタンゴ」「ふるさと」などの歌を唱っています。気軽に見学においで下さい。

場所:大岡地区センター(神奈川学習センターの向い側) 第1、第3水曜日 午後6時～8時30分
お問い合わせ

馬場 s.andante.b3682@docomo.ne.jp

高野 seiza_olion@docomo.ne.jp

○人間学研究会

〈毎月の例会発表〉毎月13:00より

★12月 5日(土)「鲁迅と日本人」

★1月 10日(日)「英国外交官の見た明治維新」

★2月 6日(土)「車いすで巡るヨーロッパ」

会員の寄稿による会誌「せせらぎ」を毎年10月発行、今年は26号を発行。遠足、演劇鑑賞、美術館訪問などの行事もあります。

★金剛流能の鑑賞会

横浜能楽堂12月12日(土)13時30分から16時00分

★1月 北鎌倉・鎌倉の七福神を巡る遠足

お問い合わせ:小林鋭子 tel:045-373-0679

E-mail: t7791aaanta@ybb.ne.jp

○資格取得研究会

看護・福祉分野を中心にキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。現在、大学卒を目指す看護師の方、看護、医療、福祉関係のキャリアアップと認定心理士を取られる方などがいます。内容は、例会(情報交換)と講演会の聴講、見学会など。

これからの例会予定

・12月22日(火)16:00～(予定、講義室未定)

・1月17日(日) 10:00～(予定、講義室未定)

会費:¥500(1年間)

ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>

お問い合わせ…080-5546-7913(はこぎき)

○ダンスサークル(社交ダンス)

場所:神奈川学習センター第7講義室

曜日:第2・第4曜日 *第1・第3火曜日 自主練習

時間:午後2時～4時 講師:菊島弘明・ユリ子

会費:1か月 1500円

活動内容:社交ダンス(モダン、ラテン)の学習(ダンスパーティーで踊れるレベルに)

ダンスはスポーツです。健康増進(特に、姿勢が良くなる)、ストレス解消に、楽しく踊りませんか!! 人生がより明るくなります。不定期ですが、1泊での実習旅行も実施しています。初めての方も楽しく踊っています(初心者、歓迎!)

また、全科履修生の方は30時間のレッスンで、体育実技1単位を取得できます。

連絡先:宮川京(代表)TEL:045-933-9753

○神奈川放友会

豊かで実りある学生生活を共有することを目的に、「学び」と「触れ合い」を柱とする幅広い活動を展開し、130余名の会員から強い支持を得ているサークルです。

☆学びの場の活動

○下町を歩き老舗の味を楽しむ会、

第7回「食べ歩き帳」開催

日時:12月19日(土)

訪問店:両国橋「ももんじや」創業は享保3年

テーマ:江戸の獣肉食事情と両国界隈の散策

☆触れ合いの場の活動

○忘年会 平成27年12月13日(日)

場所:横浜パセラリゾート関内

☆毎月の活動:俳句の会、書に遊ぶ会、女性の会、詩游会他

詳しくはWebで、<http://kanagawa-hoyukai.jp>

入会申込・問い合わせ先:山崎正之

info@kanagawa-hoyukai.jp

○中国語学習会

中国語を楽しく学びながら会員相互の親睦を図っていきましょうというサークルです。授業は発音から応用会話まで、誰でも、いつでも、どこからでも参加できる構成になっています。

☆学習日:第1、第3日曜日(原則)

10:00～12:00 告旭平先生

・初級修了程度から中級へ NHKテキスト「テレビで中国語」を教材に使用して基本会話や応用表現を学んでいます。

13:00～15:00 唐斌先生

・発音の基礎から初級会話へ

※映画鑑賞会のお知らせ

●12/20(日)14:30～(初級授業終了後)

中国映画「宋家の三姉妹」を鑑賞します。第1講義室へお集まりください。

☆お問い合わせ 和田充弘

Tel: 080-3552-2497 Mail: snuf.708w@ezweb.ne.jp

神奈川同窓会だより

“行くところがある・会う人がいる”

そこは同窓会“弘明寺サロン”です

☆12月13日(日)赤十字救急法講習会

09:00～13:00 AEDの使い方等

☆12月16日(水)14:00～16:30サロン

「池田所長」による講演会

演題:日本は「島国」か「海洋国家」か?

その後「忘年会」を予定。多数参加ください。

HP:→<http://hatoh.net/>

お問い合わせ…045-333-4426 金田 保男

次号予告

OUJ神奈川学習センターふゆだより
平成28年1月下旬発行予定。

主な記事

・県央8市の公開学習会

・神奈川学習センター

ウォーキング

・面接授業「シーカヤック概論」

・面接授業「記憶と日常生活」

ほか



OUJ神奈川学習センターだより編集部

赤松、家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、
宮崎、三国、和田

(50音順、以上、Kーサポート機関紙編集チーム)

垣谷(Kーサポート事務局)

宮崎(学習センター事務局)

◆学習センターからのお知らせ

◆2016年度カリキュラム改正のお知らせ

放送大学では、卒業要件の単純化と教育の体系化のために、2016年度から教養学部のカリキュラム全体を見直し、本学の多様な学生ニーズに対応した新カリキュラムによる教育を開始します。

詳細は、本学HP http://www.ouj.ac.jp/hp/gakubu/saihen_h28.html をご覧ください。

◆28年度第1学期学生募集（詳細は募集要項を熟読すること。）

《学部・修士選科・修士科目》

募集要項配付	27年12月1日（火）～28年3月20日（日）
出願受付（第1回）	27年12月1日（火）～28年2月29日（月）
出願受付（第2回）	28年 3月1日（火）～28年3月20日（日）
授業開始	28年 4月1日（金）

◆単位認定試験期間（詳細は「学生生活の栞」を熟読すること。）

<学 部> 28年1月24日(日)～31日(日)(25日(月)と29日(金)を除く)

<大学院> 28年1月22日（金）～23日（土）

<留意事項>

1月15日（金）までに受験票が未着の場合は大学(TEL043-276-5111)へ問い合わせてください。

◆通信指導の解答・解説及び添削結果の未着

自習型問題の解答・解説が27年12月24日（木）までに、
択一式科目の添削結果が 28年 1月 4日（月）までに、
記述式科目の添削結果が 28年 1月15日（金）までに、
未着の場合は大学（TEL043-276-5111）へ問い合わせてください。
なお、上記期日は予定であるため、正確には、大学HP等でご確認ください。

◆客員教授公開講演会

12月19日（土）13時～15時 大重賢治先生『救急車の有料化問題を考える』
受講方法 下記お問い合わせ先へ参加申込ください。

◆面接授業科目の追加登録受付中

STEP1：追加登録期間 10月23日（金）～ 科目ごとに定められた

追加登録受付期限日(原則として開講日の1週間前、一部例外有*)

STEP2：追加登録面接授業受講

*授業準備の都合上、追加登録を受付けない科目、または1週間前まで受付られない科目がありますのでご了承ください。

◆事務室からのお知らせ

①いよいよ、寒い季節となりました。手洗い・うがいの励行、適度な運動、バランスの摂れた食事、十分な睡眠、規則正しい生活を心がけましょう。

②台風や大雪等により、臨時閉所する場合がありますので、本センターHPやキャンパスネットワークホームページのお知らせを日頃から見るようにしてください。

③本センターの駐車場は身体に障がい等がある等の理由で特別に許可された学生のみが利用できます。許可のない方の駐車はご遠慮ください。

お問い合わせ：放送大学神奈川学習センター

電話045(710)1910（月曜日・祝日等を除く、9時10分～17時40分）